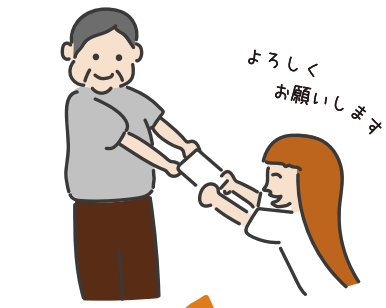


自治会に入ってみた

ごみ拾いに参加した

挨拶をする人が増えた

イベントに誘われた



まちのひと、まちのこと
よく知らなかった



自治会に入ったら、住んでる 地域がもっと好きになった

「遠くの親戚より近くの他人」と言われているように、いざという時に頼りになるのは地域のつながりです。地域の方同士で協力し住みやすい地域をめざす自治会に参加しませんか。

問 市民協働課(☎228-7405 FAX228-0371)



自治会ってどんなメリットがあるの？

わが子を地域で見守ってもらえる

朝夕の登下校の見守りなど地域ぐるみで子どもたちを見守っています。防犯にもつながります。

困った時に力になってくれる

災害発生時や日常の困りごとがあるときなどに地域で支え合います。

イベントで交流

スポーツ大会や夏祭りなど楽しい催しを通して、住民同士の交流や絆を深めます。

情報を共有できる

子育てに関する情報など、行政や自治会からのお知らせをお届けします。

自治会って、こんなに
アットホームなんです！



市民協働課職員

自治会に加入するには

自治会への加入方法が分からない場合は、お住まいの地域の自治会の役員さんや加入されている方にお問い合わせください。

お住まいの地域の自治会が分からない場合は、区役所自治推進課(☎FAX 区版1ページ)か市民協働課へお問い合わせください。

講演動画

「有事の時や困った時に
助け合えるつながり作り」

自治会の大切さが分かる動画を3月中旬から期間限定でYouTubeで配信(QRコード)します。講師は地域活性化・まちづくりコンサルタント・水津陽子さん【写真】

気軽に見られる
約5分の動画です！
ぜひご覧ください



浜寺東校区自治連合会の方にお聞きしました

つながりが安心を生み安全な地域をつくれます



浜寺東校区
自治連合会会長
三原 寧大さん
(堺市自治連合
協議会会長)

私は40年前に大阪市から引っ越してきました。はじめは子ども会を通じて地域の活動に参加し、その中でさまざまな方と知り合いになりました。現在も当時から一緒に活動してきた仲間たちと協力しあいながら自治会を運営しており、そのご縁に助けられています。登下校の見守り活動では、子どもたちの元気な挨拶にこちらが元気をもらっています。コロナ禍だからこそ、ご近所同士の心のつながりを絶やさないようにという思いで、感染対策を十分に行ったうえで、地域でのイベントや活動を継続しています。新型コロナウイルス対応もそうですが、災害や犯罪などを乗り越えられる地域をつくっていくためには、みんなが顔見知りで安心できることが大切だと考えています。今後も、校区自治連合会会長として、安全・安心でにぎわいのある地域をつくっていきたいです。

委員のみんなで協力し負担にならない範囲で参加しています



広報委員長
小井手 純一さん

三原会長の行動力やみんなを引っ張る力にひかれ、10年前から広報委員長として自治会広報紙の制作をしています。校区のイベント写真の撮影や年4回の広報紙発行を、6人のメンバーで分担して行っています。委員の年齢層が幅広いので、撮影用のカメラはみんなが簡単に使えるものを準備するなど、誰でも負担なく活動できるように工夫しています。仕事や家庭など皆さんそれぞれ事情があると思いますが、私も自分の都合を優先しながらできる範囲で参加し、負担なく活動できています。



困ったときに頼りになるのは
笑顔でつながる地域です

—活動の様子をご紹介します—

